

の貿易は、常に輸入の輸出に超過すること、數等の上に超えざるは無し。世界的經濟眼を以て之を見れば、輸入超過は、何等の痛痒を感ずること無がらんも、一國一省の經濟上乃至金融上よりせば、輸入超過は、多大なる損失ならざるを得ず。新疆人の貧弱に沈みて起ち能はざるは、連年、輸入超過の繼續せるもの、其の一大原因たらずんばあらず。

更に第二の原因は道路險惡、交通不便なるに在り之が爲め、運搬費多額に上り、官民共に高價の物品を用ひつゝ在り。試みに看よ、輸入物貨が、如何に運搬費に多大の値を加ふるかを。例せば陝西、四川、甘肅よりの入貨たる絹布、綿布、水煙、紙、砂糖等は其の價格約二倍と爲り、又張家口より蒙古帶を経て來る天津物貨(日本及諸外國品を含む)即ち絹布、反物、更紗、羅紗、陶器、卷煙草、針糸、染料、海産乾物類、マツチ、手巾、時計、靴足袋等は七八割を増加するに至る、以上は烏爾木齊に於ける價格にて、更に此地より遠く南北の各地に輸送すれば、尙ほ幾許の高値に上るは、言を俟たず。以て新疆人は甚しき高價の物貨に依て、衣食しつゝ在るを知るべし。

又其の第三原因は、資金に乏しきに在り。新疆人は如何に生産事業の發達進歩